

「関東ブロックにおける社会資本整備重点計画」に対する御意見

氏名	所属
志手 一哉	芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授

■ご意見の内容(1/1)

1. 防災について、地震時の火災への対応として、東京を中心とした木造密集市街地をどのように守っていくのかという視点がある。また、津波対策として、千葉県や神奈川県などの湾岸地域の避難施設はどうなっているのか。さらに首都圏全体では帰宅困難者対応の視点も必要である。
2. 重点目標3の「持続可能で暮らしやすい地域社会の形成」では、郊外の空き家対策が重要な施策となる。大規模ニュータウンや団地等で都市部における空き家の発生が懸念される。空き家対策も含めたコンパクトシティの概念が必要に思う。また、高齢者・障害者対策としては、例えばデジタル技術を使ったバリアフリーの推進も効果的である。
3. 省エネルギーや地球環境問題への対応がもう少しクローズアップされても良い。例えば水素を使った公共交通車両等の導入は国が率先して進めていかないと民間だけでは難しい。地球環境の改善に対する視点でより具体的な内容があると良い。さらに、地球環境と持続可能な地域社会の形成、少子高齢化等の対策を融合する横断施策があると良い。
4. 建設技能者の減少が著しい原因の1つとして、屋外作業で休日が少ないことがあると思っている。その視点で、例えば、プレキャストコンクリートをもう少し現場で使いやすくするために法制度の改良も重要ではないか。プレファブリケーションが進めば工場働く若者が増えるのではないか。また、工場等で建設技能者が働く雇用環境が整っていないことも大きな要因である。例えば工業高校の学生等の就職の選択肢になるように、技能者を雇用する会社を存続させるための支援が必要ではないか。